

2007 年度

科目名 児童福祉論Ⅰ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 農野 寛治
授業テーマ 児童福祉の基礎知識を学ぶ		
授業の概要と目標 現在深刻化しつつあるわが国の少子高齢社会に対応すべく、社会の仕組みが大きく変えられようとしています。このような時代であるからこそ、子どものための福祉制度、施策、実践の重要性は、ますます高まっています。児童福祉論Ⅰの授業では、現代社会における児童福祉の意義や理念、福祉需要の把握や児童福祉に関する法体系、実施制度の概要を理解する上で必要な基本的知識を学ぶことを目的としています。		
評価方法 筆記試験により評価します。授業を良く聴くことはもちろん、自身でも復習する姿勢を持ってください。		
テキスト 『児童福祉論』	著者 西尾祐吾編	出版社 晃洋書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① 児童福祉の領域と体系・子どもの分立 ② 児童福祉の理念・児童の権利に関する条約（制定経過と条約の概要） ③ 児童福祉の歴史・慈善から福祉、そしてウェルビーイングへ ④ 少子社会と社会的子育て支援・新たな子ども家庭福祉の創設 ⑤ 児童福祉の実施体制（１）・国及び都道府県の役割 ⑥ 児童福祉の実施体制（２）・市町村の役割、民間団体等の役割 ⑦ 児童福祉と行財政 ⑧ 児童福祉施設（１）施設の運営と費用 ⑨ 児童福祉施設（２）各種施設の概要と最低基準 ⑩ 児童福祉に携わる専門職 ⑪ 健やかに生まれ育つために・母子保健施策と保育施策 ⑫ 子育ての費用負担・手当等の施策 ⑬ ひとり親家庭への支援・母子及び寡婦福祉施策 ⑭ ノーマライゼーションをめざして・障がい児への支援施策 ⑮ 子どもの健全育成・児童虐待への対応と非行児への施策		